

# 北海道の体育

体研連ミニ広報

No. 1

令和元年5月10日(金)

## 2019年度定期総会

平成31年4月20日(土)に、ホテルライフオーソ札幌で北海道学校体育研究連盟の定期総会が開催されました。役員・事務局会員をはじめ、全道各地から大勢の方々が参会され、ご来賓として顧問の第25代委員長飯沼 晃様、第27代委員長小野寺 正様、北海道中学校体育連盟元会長宇留間 準様にもご出席を賜り、総勢61名という参加人数で執り行われました。

中野委員長の挨拶で会が始まり、続いてご来賓の顧問飯沼 晃様よりご挨拶をいただきました。その後、大牧事務局長より本連盟の組織についての話があり、1月31日をもって根室支部が正式に脱会となったとの報告がありました。また、後志が連盟加入を目指して準備を進めてきたということで、参加者全員の承認を得て後志支部として本連盟に加盟ということが決まりました。

役員、各支部、事務局員の自己紹介後、議事に入り、平成30年度の業務報告、各支部の活動状況報告がなされました。各支部からの報告では、昨年度の研究実践から見えてきた成果と課題や、授業で役立つ技能向上を目指した実技研修会等の取組について、参考となる話を聞くことができました。2019年度の計画に関しては、大牧事務局長より提案がありました。第56回北海道学校体育研究大会釧路大会を全力でサポートしていくことや総務部、広報部



体研連委員長 中野 正毅

が中心となって各支部会員の絆を深めたり、会員の増員を目指したりしていくことなどの話がありました。また、今年度の全道研究担当者研修会を12月13日に設定することも決まりました。

予算案審議後の「その他」では、大牧事務局長より、今後の全道大会開催地について、2020年度オホーツク、2021年度札幌、2022年度上川、2023年度十勝、2024年度札幌、2025年度は札幌での全国大会と兼ねることが確認されました。また、2026年度には渡島が開催したいと立候補され、今後事務局で調整していくことが確認されました。

議事の最後は、新役員の選考結果報告で、2019年度の新役員が左の表のように決定しました。

新旧役員の皆様の挨拶の後、函館支部一戸副委員長の挨拶で、2019年度の定期総会が閉会となりました。



第25代委員長 飯沼 晃様  
第27代委員長 小野寺 正様  
道中体連元会長 宇留間 準様

### 《2019年度新役員》※敬称略

委員長	中野 正毅 (札幌)	
副委員長	和田 正教 (札幌)	
	神谷 敦 (札幌)	
	鈴木 真 (札幌)	新
	新谷 修 (釧路)	
	古高 誠志 (旭川)	
	土橋 史人 (渡島)	
	一戸 裕之 (函館)	
	倉 博之 (上川)	新
	緒方 隆人 (ホーツク)	新
	東 公康 (留萌)	新
	下坂 吉彦 (帯広)	新
監事	四戸 基樹 (札幌)	
	佐田 利典 (札幌)	新
事務局長	大牧 眞一 (札幌)	



旧役員の皆様



新役員の皆様

(文責：広報部 三浦 祐大)